

01

10月2024

今しなければならぬことは

by NCM2 CHOIR

全2page



ロサンゼルスから日本にきています。円安なので、換算すると多くの物の値段は安いのですが、果物の高さには驚いています。

柿や梨が一個でこの値段？ 皆さんこれを買うのでしょうか？ ロサンゼルスに帰れば、教会の方々からみなさんの家で取れた新鮮な富有柿をいただくことができるのに・・・。



果物好きな私ですが、しばらく我慢していました。ところが友人の泉のりこさんという80台の方が、今最も高いシャインマスカット（一枝千円以上する）を集会に持っていらっしゃいました。

彼女曰く、「だって来年生きているかどうかわからないでしょう？もう今年しか食べられないかもしれないのよ」

そうでした。聖書のルカ伝12章の金持ちのたとえを思い出しました。

「ある金持ちが豊作にめぐまれ、蔵を大きくし、これからの人生、食べたり飲んだり、この蓄えがあるから大いに楽しもう、と言いました。ところが神様は彼にむかって

『愚か者よ、今夜お前の命は取り上げられるお前が用意したものはだれのものになるのか』
と言ったのです。』

そしてイエス様は続けます。「あなたがたのうち、だれがおもいわずらったからとて、
自分の寿命をわずかでものばすことができようか」

そこで私もシャインマスカットを清水の舞台から飛び降りる思いで買って食べてみました。
来年のこの時期に生きているかどうかわからないと思ったからです。

値段の割においしいとは思いませんでした。

でも神様がおっしゃっているのは、実は、「命は主のもですよ」ということですね。
一瞬先でも私たちの命はどうなるかわからない、そのつもりで与えられた今という時を
生かさなければならないということでしょう。

This is the day that the Lord has made (詩篇 118 篇 24) の讃美がきこえてきます。Let us
rejoice and be glad in it

今日は神様が創られた日、歓び、喜びましょう。

この英語の be glad in it のニュアンスは人為的にこの日を喜ぶように努めよう、という意
味合いがあるように感じられます。好きな果物を食べるということだけではなく、今日私が
主から託されていることは何か、を考えさせられます。

竹下弘美



折尾クリスチャンチャーチ

住所 〒807-0873

福岡県北九州市八幡西区藤原 2-12-6

電話 & FAX 093-692-9200 (9:00 ~ 13:00)

メール oriochurch@outlook.jp

URL <http://www.oriochristianchurch.net>